

職員による自己評価

A環境面

エレベーターがなく、他の階への行き来が大変。

B児童への支援内容

毎月店舗で研修を実施。また毎日ミーティングを行い情報共有している。

児童一人ひとりにあった支援方法を統一している。

外出レクやおやつレクに力を入れている。

C関係機関との連携

役所などの関係機関の集まりには参加し、内容を共有している。

研修に積極的に参加。

D保護者への説明責任・信頼関係

送迎時にその日の活動内容を口頭で説明したり、専用のアプリで写真や本日のご様子を発信している。

E非常対応

毎月、活動レクで避難訓練を入れている。

AED や心肺蘇生法などの講習を行っている。

保護者による評価

A環境面

もう少し広い方が子供達ものびのび出来そう。外階段があるので、完全なバリアフリー化には限界がある。

B児童への支援内容

支援内容の報告が丁寧にされている。

休日は外出レクなど、子供が楽しめる場所へ連れて行ってくれる。

他クラブとの機会があったと報告をうけたことはない。

C事業所からの情報発信

コロナ禍もあり、保護者会はまだなかった。

父母の会や保護者会等は、開催されていないがそもそもニーズがあるのか疑問

D非常対応

非常食を実際に食べ、良い経験をさせて頂いた。

毎月避難訓練を行って頂き、近隣の小学校へ

事業所内での分析

【共通点】

屋外活動に一定の評価を得ている。

支援内容に満足している。

避難訓練に力を入れている。

【相違点】

保護者会の開催がない

保護者様より、他クラブとの関わりがあるのか知りたい。

分析・検討してみて…

事業所の強み

保護者同士の交流が持てるよう、こどもの国でBBQを開催したり、保護者が児童の様子を外から見る「保護者参観」を実施。
もみじのて初のキャンプを行うなど、外出レクに力を入れている。
児童一人ひとりにあった支援方法を毎日ミーティングで話し合い、方法の統一を図っている。
支援学校の方が見学に来られ、支援内容等の情報共有を行っている。
毎月研修を実施。

事業所の改善点

保護者会の開催が出来ていないので、検討していく。

事業所の改善への取り組み

保護者会が開催出来るよう、打ち合わせをする。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

去年は今までにない活動を行い大盛況に終わりました。利用予定表や活動予定表をペーパーレス化し、全て専用アプリで入力・確認できるようにしたが、まだ浸透していない。帰りの送迎時やLINE等で周知出来るよう努めたい。また保護者会を開催し情報共有や意見交換等出来るよう検討したい。